

宇治情報

No.131

(体験集通算 481号)

宝 藏

神に全托する

生長の家宇治別格本山祈願部部长

阿部秀輝

宝蔵会の皆様には日頃から宇治別格本山の活動にご賛同いただき、感謝申し上げます。

秋も深まり、二〇二五年も十一月を迎えて
おります。新年を寿ぐ第六十六回宝蔵神社新
年祭が二〇二六年元日から執り行われます。

宝蔵神社新年祭にご参列いただき、本尊神霊にまします生長の家大神、諸神諸菩薩様の日頃のお導きに感謝を捧げるとともに、ご先

祖の御靈様に報恩
感謝の真心を捧げ、
神・自然・人間の

大調和を地球社会の一員として祈念することは、一年

を出発するに誠に
意義深いことです。
二〇二六年宝蔵

感染症が『五類感染症』に変更されてからの各種行事対応」の通達に準じて、本年と同様に規模を縮小して行います。祭典は元日のみとなっておりますが、参拝はご自由となっております。情報誌「宝蔵」でも案内がありますのでご確認ください。

また、初詣練成会が五年ぶりに開催されます。十二月三十一日、一月三日まで予約制(定員百名程)で行われることになりました。新年から練成会を受講し、神性を開発される機会に恵まれることは誠に素晴らしいことです。更に大拝殿一階では鏡餅、おみくじ、御守り、靈牌、末一繁荣祈願、永代供養のお申込みを受け付けております。

神癒の社入龍宮幽齋殿での幽齋殿行事では神想観美修、新春書初め、写経、神癒祈願のお申込み等、通常の窓口業務を行いますので、多くの皆様にお越しいただくことができます。ただし、新年祭奉仕並び（次頁に続く）

に練成会参加者以外の皆様の宿泊はできませんので、ご理解のほどお願い申し上げます。

現象的には制約の中での新年祭、初詣練成会の開催となりますが、私たちは生長の家で「現象は如何にあれ、実相は完全円満」と教えていただいております。実相を観ずる神想観をはじめとする三正行の実践と日時計主義の生き方で神の子の明るい毎日を送ることが出来ます。行を継続することで次のような体験が出ておりますので紹介いたします。

ドイツ在住のYさんは十年前から写経(全項目)の奉納を続けておられ、毎年、宇治別格本山に参拝にいられておりました。今回、息子さんの安定した職場と実相顕現を祈願されました。写経は心身を整える日課であり、また出勤前の神想観は欠かせないと言われます。今年に入り、息子さんの転職とご自身の再就職が同じ会社に決まり、今までの経験を生かした仕事につけたこと、神様に感謝していると嬉しいお便りをいただきました。毎日の生活の中



境内の木々も色づき、秋が深まってきました。生長の家の取り組む俳句・クラフト・自転車・菜園・ノーマー料理などにもピッタリな季節です。そんな中、我が家の小さな畑では、夏にグングン伸びたキュウリとミニトマトが役目を終え、ほっれん草が育っています。また、冬の寒さに備えて、隙を見ては内窓を作っています。思いつくままに取り組み、工夫を重ねるうちに、自らの生長を感じられます。モノづくりの悦

随想

丁寧な生活

で、神に全托して日々の信仰を深めることは誠に素晴らしいことです。今月は第二、第三、第四土日に「ご

先祖と共に悦びの一日講話」が開催されます。皆様の参加をお待ちしております。

祈願部

千羽真平

びはこんな所にもあるものです。夜になれば、夫婦で少しずつ聖典を輪読します。「必ず毎日何ページ」と型に嵌めるのではなく、その日の気分で真理の言葉を味わいながら眠りにつくと、翌朝は不思議と心地よい目覚めを迎えられるものです。

先日、アートクラフトマーケットという個人作家さん達の催しに行ってきました。木彫、水彩、陶芸等多岐にわたる作品と触れ合い、もちろん購入もできますが、作家さん御本人のお話を伺うのが、何より楽しいひと時でした。旅行でアイヌの木彫に感動し、小学校の彫刻刀を引っ張り出して始められた方、あるいは一度制作を始めると寝食を忘れて没頭してしまう方、様々な作

家さんの語られるお話はどれも個性のかつ魅力的で輝いておられました。内なる声に耳を傾け、感動の赴くままに進むと、道は自ずと開かれていく—そう教えられたようでした。

そして、今年は民芸運動百周年ということもあり、各地で関連した展覧会が催されています。民芸運動の主唱者柳宗悦は日本の急速な近代化の中で、失いつつあった地域独自の品に「美」を

見出し、「民芸」という言葉を生み出しました。その収集・保存に努めた記録の著書『蒐集物語』の中で彼はこう述べています。

「人は受け得る位置に置かれてはいないので、与える位に就いてはいないのです。与うる者は常に見えざる無上な力のみなのです。」

生長の家では「人間は神の子であり、神に生かされている」と説きます。ど

ちらも共通する真理があるように感じます。

神に生かされた感謝の生活、自然と共に伸びる生き方—それこそが、自らの中に神を拜むことへ繋がっていくのだと感じます。最近はその丁寧な生活をされる方が、増えてきたようです。まずはこの秋、肩の力を抜いて、内なる催しに従い、なにかひとつ始めてみられてはいかがでしょうか。

第六二八回(十月) 短期練成会

体験感想文

T. U

(50代)〈女性〉

病気が再発し、自分の力でどうにもならず、「宇治へ行きたい」の一心で来しました。

「問題を解決する力を携えてこの地上に生まれて来たのだから大丈夫。現わしたら消える。現わして消している。どんどん消えて、良くなっていく。心の

中に蓄積していた何かが外に現れているだけ。出たら必ず「一層良くなる」という岡田伊都子講師の言葉は私に直接言ってくださっている様で、そうだったんだと思えるお言葉でした。

個人指導では、「若くして亡くなった父は私の生きている存在自体を喜んでくれている。私が存在しているだけ、それだけで父母共に幸福でいてくれている。私という人間はとても尊い存在だ」

と聞きました。そして、最後に仰っていただいたことは、「幼い時の自分を抱きしめてあげてください。さみしかったね。でもお父さんの愛はちゃんとあるよ。ずっとお父さんお母さん、兄妹みんなと一緒だったんだよ、と言ってあげてください」と教えていただきました。とてもありがたかったです。そうすると安心できる、安心は喜びの愛で光であるということでした。

この練成会に参加出来て、素晴らしいお話が聴けて幸せでした。苦手だった神想観をして、神の子無限力を信じて、完全円満な実相を (8頁に続く)

11月【ご先祖と共に悦びの一日講話プログラム】〈会場:大講堂〉

日付・曜日	日付・曜日	時 間	講話及び行	担 当	テキスト
1 日(土)～3 日(月)の間【短期練成会】を開催いたします					
8 日 土	幸福な恋愛・結婚・家庭生活	10:20～11:05	開会の祈り・愛する悦び、愛する幸せ	岡田 浩二	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		11:15～12:00	魂ひめくり違い	千羽 真平	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	わが家は愛と幸せがいっぱい	田野 靖彦	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		14:00～14:45	拝み合い、生かし合い、生長し合うこと	清水 志郎	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		14:45～15:20	「如意宝珠観」実修・閉会の祈り	清水 志郎	
9 日 日	悦びの先祖・流産児供養(御祭はありません)	10:20～11:05	開会の祈り・“神の子”の光の因縁	清水 志郎	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		11:15～12:00	旧我の否定と真我の自覚～浄心行の意義・説明～	阿部 秀輝	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:15	体験談	水谷 公美	
		13:15～14:00	悦びの先祖・流産児供養	岡田 伊都子	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		14:15～15:00	久遠の生命(いのち)を生きる	目等 泰夫	「森の日ぐらし」『幸福を招く365章』
		15:00～15:35	「実相円満誦行」実修・閉会の祈り	目等 泰夫	
15 日 土	「浄心行」	10:20～11:05	開会の祈り・光り輝く神の子のあなた	清水 志郎	「生長の家ってどんな教え?」『聖經 真理の吟唱』
		11:15～12:00	旧我の否定と真我の自覚～浄心行の意義・説明～	新宮 一	「新しい文明を築こう・中巻」
		12:00～13:15	昼食・休憩・浄心行用紙記載		昼食希望の方はご予約ください
		13:15～14:00	父母の愛に導かれて	岡田 伊都子	「生長の家ってどんな教え?」『聖經 真理の吟唱』
		14:10～15:25	「浄心行」・閉会の祈り	千羽 真平	聖經「甘露の法雨」「万物調和六章経」
16 日 日	すべてと調和した幸せな生き方	10:20～11:05	開会の祈り・ただ「愛」のみが万事を解決する	鶴岡 俊光	「生長の家ってどんな教え?」『聖經 真理の吟唱』
		11:15～12:00	人と調和するには～多の中に一在るを見る～	岡田 浩二	「生長の家ってどんな教え?」『聖經 真理の吟唱』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:15	体験談	高 千穂	
		13:15～14:00	心から教したとき、自分が救われる	清水 志郎	「生長の家ってどんな教え?」『聖經 真理の吟唱』
		14:15～15:00	全ての生命に祝福礼拝	目等 泰夫	「生長の家ってどんな教え?」『聖經 真理の吟唱』
		15:00～15:35	「四無量心を行する神想観」実修・閉会の祈り	目等 泰夫	
22 日 土	運命は変えられる	10:00～12:00	谷口雅春大聖師御生誕日記念式典(総本山からのライブ配信を大講堂で拝聴いたします)		
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	開会の祈り・あなたは神の子、運命の主人公	小野 大作	
		14:00～14:45	断じて失敗を予想せざる者は終に勝つ	岡田 伊都子	「合本讃歌」「智慧と愛のメッセージ」
		15:00～15:50	「制限なしの幸せ」が待っている・閉会の祈り	清水 志郎	「合本讃歌」「智慧と愛のメッセージ」
23 日 日	折り合いの神想観	10:20～11:05	開会の祈り・あなたがあなた自身を好きになること	田野 靖彦	「合本讃歌」「智慧と愛のメッセージ」
		11:15～12:00	陰極は陰転する	阿部 秀輝	「合本讃歌」「智慧と愛のメッセージ」
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:15	体験談	岡田 多美子	
		13:15～14:00	常に折り、神と共に生きる	岡田 浩二	「合本讃歌」「智慧と愛のメッセージ」
		14:15～15:00	最も神の御心に叶う折り～折り合いの神想観について～	目等 泰夫	「合本讃歌」「智慧と愛のメッセージ」
		15:00～15:35	「折り合いの神想観」実修・閉会の祈り	目等 泰夫	

第5週は講話はありません

◆お申し込み方法(※事前予約制です)

申し込みフォーム(Facebook 及びホームページ、右下の URL から入れます)にて必要事項を入力していただくか、お電話(0774-21-2153)にてお申し込みください。

◆奉納金

大人 1,500 円／子供(3～12 歳) 750 円 ※発熱、息苦しさ、咳、だるさ等で体調不良の方は参加不可となります。

【宿泊も受け付けています】

◆受付対象者 ・土日両日参加し、全講話を受講予定の方

◆料金 4,500 円 + 土曜日の昼食代(ご随意) ※4,500 円の内訳は(講話参加費2日分=3,000 円)+(参籠費(一泊食事付)=1,500 円)

◆申し込み方法等

・宿泊2日前となる本曜日の 17 時までに、お電話(練成部：0774-21-2153)または申し込みフォームにより予約手続きをしてください。

★JR宇治駅・京阪宇治駅への出迎えのバスのご案内

・出発時間：京阪宇治駅 9:40 発、JR宇治駅 9:55 発(22 日のみ京阪宇治駅 9:30 発、JR宇治駅 9:40 発となります)

・集合場所：各駅ロータリー(JR宇治駅は東側ロータリーとなります)

・出迎えは上記時間の一回のみであり、時間となりましたら出発します。ご希望の方は出発時間までに集合場所に来ていただくようお願いいたします。

(※道路の混雑具合等の理由で、バスが予定時間より遅れる可能性もございます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。)

[申込フォーム]
QRコード

令和7年12月【第630回 神性開発 宇治 短期練成会 プログラム】会場:大講堂

12/5(金)	12/6(土)	12/7(日)
※万が一キャンセルされる場合は、分かった時点で連絡していただくようお願い致します。 申込期間 ・ 申込の受付12月24日(木)まで ・ 日帰りの方は参加前日(25日)まで 申込み方法(2通りのあります) ① 講師へお電話(0774-211-256) ※受付時間20分〜17時の間におかけ下さい ② 参加申込フォーム ホームページ・Facebookまたは 左下のQRコードからお申込み下さい 参加申込フォーム 	4:45 起床 5:05 早朝行事 先導: 清水 志郎 聖経「甘露の法雨」 「日々の祈り」「聖歌歌詞集」 6:30 感謝行(15分) 6:45 朝食・休憩 (食堂は6:45〜7:30) 7:50 聖歌・笑い 8:00 「人類同胞大調和六章経」読誦 岡田 浩二 8:20 講話 悦びいっぱいの子の神の子の生活 岡田 伊都子 『夢の地平線』『生活の智慧365章』 9:10 「実相円満講行」実修 岡田 伊都子 9:30 休憩・バスで幽斎殿へ移動 10:00 「入龍宮幽斎殿にての神想観」実修 阿部 秀雄 10:30 講話(幽斎殿) 神と偕に生きる〜天国は今ここに〜 阿部 秀雄 『飛鳥讃歌』『生活の智慧365章』 11:20 神慮祈願・写経の説明・申し込み 11:30 バスで新練成道場へ移動・休憩 12:00 昼食休憩 12:50 聖歌・笑い 13:00 先祖供養説明及び霊牌記載 服部 信雄 13:40 体験談 千羽 榛子 13:55 講話 今ここに新たに生まれ 〜浄心行の意義・説明〜 清水 志郎 『新しい文明を築こう・中巻』 14:50 浄心行用紙記載 聖経読誦 清水 志郎 15:20 休憩・大拝殿へ移動 15:40 「先祖・流産児供養祭」 聖経「天使の言葉」 『聖歌歌詞集』 会場:大拝殿 16:30 夕食・入浴休憩 18:20 聖歌・笑い 18:30 講話 父母の愛に導かれて 鶴岡 俊光 『夢の地平線』『生活の智慧365章』 19:20 会議準備 19:30 「浄心行」清水 志郎 聖経「甘露の法雨」 『万物調和六章経』 『聖歌歌詞集』 ※浄心行後に送りのバスが出ます 20:40 体験感想文記載 就寝準備 22:00 消灯	4:45 起床 5:05 早朝行事 先導: 岡田 伊都子 聖経「甘露の法雨」 「日々の祈り」「聖歌歌詞集」 6:30 感謝行(15分) 6:45 朝食・休憩 (食堂は6:45〜7:30) 7:50 聖歌・笑い 8:00 体験談 藤本 和博 8:15 講話 自己の殻を破り、他のために尽す 〜真の幸福は万物の調和と共に〜 岡田 浩二 『二百字日記3』『合本讃歌』・研修生義集案内 9:05 休憩・笑い 9:20 「与える愛の実践」 無我献身・報恩感謝の献芳 (大拝殿の豊拭き) 10:00 御先祖と共に世界平和を祈念する 「祈り合いの神想観」実修 清水 志郎 10:30 移動・休憩・笑い 11:00 体験決意発表 11:40 結語講話 光に向かってどこまでも伸びよう 目等 泰夫 『飛鳥讃歌』『人生の扉を開く〈第1集〉』 12:30 開会式・使命行進曲・挨拶 12:40 終了予定 昼食をお召し上がりいただけます。 昼食後に、JR宇治駅と京阪宇治駅までの送りのバスを2本手配いたします。 《テキスト》 ・ 二百字日記3 ・ 日々の祈り ・ 夢の地平線 ・ 新しい文明を築こう・中巻 ・ 生活の智慧365章 ・ 詳説神想観 ・ 人生の扉を開く〈第1集〉 《行事で使用するもの》 ・ 聖経四部経 〔聖経甘露の法雨・聖経天使の言葉・ 聖経続々甘露の法雨・聖使命菩薩讃偈〕 ・ 合本讃歌 〔親世音菩薩讃歌・大自然讃歌〕 ・ 飛鳥讃歌 ・ 人類同胞大調和六章経 ・ 万物調和六章経 ・ 聖歌歌詞集 《持ち物》 ・ 洗面用具(シャンプーはありません。 ご持参ください) ・ 筆記用具 ・ 替着え ・ ハンカチ ・ マイ箸、マイボトル ※売店と自動販売機は撤去いたしましたのでご注意ください 【奉納金】 ・ 一泊4,000円 子供(3〜12歳)2,750円 ・ 日帰り1,500円 子供(3〜12歳)750円

2025年12月 第4回神性開発宇治プログラム 献勞練成会プログラム

12/12 (金)	12/13 (土)	12/14 (日)
☆予約制となります。 申し込み方法 ・練成部へ電話 (0774-21-2103) ※9時～20時17時の間にお掛け下さい。 ・参加申込フォーム (ホームページ、Facebookまたは 下のQRコードから入力してください) ・申込期限 ・申込の方は12月11日(木)まで ・日帰りの方は参加当日まで ※万が一キャンセルされる場合は、分かった時点で連絡 していただくようお願い致します。 QRコード 参加申込 フォーム 京阪宇治駅とJR宇治駅に出迎いのバスを 手配いたします。 ◇昼食前の ・京阪宇治駅 11:15発 ・JR宇治駅 11:25発 ◇練成開始前の ・京阪宇治駅 12:15発 ・JR宇治駅 12:25発 に各駅2回ずつ出迎いたします。 集合場所: 各駅ロータリー (運転手が「生長の 家」のプラカードを持っています) ※昼食は、宇治別格本山までお召し上がり いただけます。(食室11:30～13:00) 11:00より受付を開始いたします 13:00 聖經「天使の言葉」読誦 岡田 浩二 13:20 開会式・挨拶 清水 志郎 13:30 講話 人間は神の子、無限の可能性がある 岡田 浩二 『日々祈り』 14:15 休憩・笑い 14:30 献勞説明 献勞① 「大拝殿1F」廊下拭き・階段拭き 「大拝殿2F」畳拭き・窓ふき 15:30 休憩・笑い 15:50 献勞② 「大拝殿2F」窓ふき・ 外回廊・正面階段 16:45 夕食・入浴休憩 18:40 聖歌・笑い 18:45 経本「大自然讃歌」読誦 岡田 浩二 19:15 講話 与える喜び、与えさせていただき幸せ 清水 志郎 『日々祈り』『詳説神想観』 20:00「基本的な神想観」実修 清水 志郎 20:30 就寝準備 22:00 消灯	4:45 起床 5:05 早朝行事 先導:未定 聖經「甘露の法雨」 「万物調和六章経」「聖歌歌詞集」 6:30 感謝行(15分) 6:45 朝食・休憩 (食室は6:45～7:30) 7:55 聖歌・笑い 8:00 「万物調和六章経」読誦 清水 志郎 8:20 献勞③ 宝蔵神社 神殿及び玉垣磨き 9:20 休憩・移動 9:45 「宝蔵神社月次祭」 「流産児供養塔月次祭」 参列 (大拝殿からの選擇) 聖經『甘露の法雨』 聖經『天使の言葉』 経本『飛鳥讃歌』 12:15 昼食休憩 (浄心行用紙記載) 13:20より、幽霊殿へのバスが出ます 13:30 入龍宮幽霊殿にての神想観 岡部 秀雄 14:00 献勞④ 末一稻荷神社 石段及び玉垣磨き 15:00 休憩・笑い 15:30 献勞⑤ 引き続き末一稻荷神社石段 及び玉垣磨き 太鼓橋の磨き洗い続き 16:30 夕食・入浴休憩 (浄心行用紙記載) 18:25 聖歌・笑い 18:30 講話 父母の愛に導かれて 新宮 一 『夢の地平線』『真理の吟唱』 19:15 会連準備 19:25 「浄心行」小野 大作 聖經『甘露の法雨』『万物調和六章経』 『聖歌歌詞集』 ※浄心行後、JR宇治駅、京阪宇治駅まで 送りのバスを手配いたします 20:40 体験感想文記載 就寝準備 22:00 消灯	4:45 起床 5:05 早朝行事 先導:未定 聖經「甘露の法雨」 「聖歌歌詞集」 6:30 感謝行(15分) 6:45 朝食・休憩 (食室は6:45～7:30) 7:55 聖歌・笑い 8:00 講話 万物と調和し、万物を生かす 千羽 真平 『二百字日記3』『合本讃歌』 8:45 休憩・移動 9:00 献勞⑥ 境内全域 10:00 休憩・笑い 10:20 献勞⑦ 境内清掃・大拝殿仕上げ 11:10 休憩・笑い 11:20 体験決意発表 11:45 講話 必ず幸せになる道 日等 泰夫 『二百字日記3』『合本讃歌』 12:30 開会式・使命行進曲・挨拶 12:40 終了予定 昼食をお召し上がりいただけます 昼食前後に、JR宇治駅と京阪宇治駅までの送 りのバスを2本手配いたします。 《テキスト》 ・二百字日記3 ・日々祈り ・夢の地平線 ・詳説神想観 ・聖經 真理の吟唱 《行事で使用するもの》 ・聖經四部経 〔聖經甘露の法雨・聖經天使の言葉・ 聖經続々甘露の法雨・聖使命菩薩讃偈〕 ・合本讃歌 〔親世音菩薩讃歌・大自然讃歌〕 ・人類同胞大調和六章経 ・万物調和六章経 ・聖歌歌詞集 《持ち物》 ・洗面用具 (シャンプーはありません。 ご持参ください) ・筆記用具 ・替替え ・ハンカチ ・マイ箸、マイボトル ・動きやすい服装 【奉納金】 ・一泊4,000円 子供(3～12歳)2,750円 ・日帰り1,500円 子供(3～12歳)750円

12/31 (水)	1/1 (木)	1/2 (金)	1/3 (土)
※キャンセルされる場合は連絡してください。キャンセル料はかかりません。 申込期限 ・申込受付は12月30日午後18時迄 ・1日だけの方は参加申込のみ ・2日以上の場合は参加申込と宿泊申込の両方 ・参加申込フォーム ・参加申込QRコード 申込方法 ①申し込み方法(2通りあります) ②締成済お申し込み(0774-121-2153) ※※※20分以内の間に申し込む必要があります ③参加申込フォーム(ホームページ・FAX・メール) ※※※20分以内の間に申し込む必要があります	4:45 起床 5:05 早朝行事 先導：未定 聖経「甘露の法雨」 『日々の祈り』聖歌歌詠集 6:30 感謝行(15分) 6:45 朝食・休憩 (食卓は6:45～7:30) 7:50 聖歌・笑い 8:00 講話 日時計主義を生きる 岡田 浩二 『夢の地平線』 『神と信に生きる真理365年』 8:50 休憩・笑い 9:10 悦びの座談会 (Q&A) 10:20 休憩・移動 10:45 「宝蔵神社新年祭」参列 聖経『甘露の法雨』 『聖歌歌詠集』 会場：大拝殿 12:30 屋食休憩 13:30 聖歌・笑い 13:40 体験談 千羽 穂子 13:55 講話 罪未ななし 千羽 真平 『夢の地平線』 『神と信に生きる真理365年』 14:45 休憩・笑い 15:05 講話 神の子として新生する ～浄心行の意義・説明～ 清水 志郎 『新しい文明を築こう・中巻』 16:00 浄心行用紙記載 聖経読誦 清水 志郎 16:30 夕食・入浴休憩 18:20 聖歌・笑い 18:30 講話 父母の愛に導かれて 鶴岡 俊光 『夢の地平線』 『神と信に生きる真理365年』 19:20 会場準備 19:30 「浄心行」清水 志郎 聖経「甘露の法雨」 『万物調和六巻経』 『聖歌歌詠集』 ※浄心行後に送りのバスが出ます 20:40 就寝準備 22:00 消灯	4:45 起床 5:05 早朝行事 先導：未定 聖経「甘露の法雨」 『日々の祈り』聖歌歌詠集 6:30 感謝行(15分) 6:45 朝食・休憩 (食卓は6:45～7:30) 7:50 聖歌・笑い 8:00 講話 『親世音菩薩讃歌』読誦 岡田 浩二 8:30 講話 解決できない問題はない 新宮 一 『日々の祈り』 『神と信に生きる真理365年』 9:20 休憩 バスで「幽斎殿」へ移動 10:00 「入龍宮幽斎殿にての神想観」実修 岡田 秀雄 10:30 講話(幽斎殿) 感謝はすべてを癒す 岡田 秀雄 11:10 書初め実修 11:40 バスで「新緑成道場」へ移動・休憩 12:00 屋食休憩 13:20 聖歌・笑い 13:30 体験談 鎌本 和博 13:45 先祖供養説明及び霊柩記載 服部 信雄 14:30 講話 生き通しの生命(いのち) ～施振り合うも他生の縁～ 田野 達彦 『日々の祈り』『人生の扉を開く(第3集)』 15:20 休憩・笑い 15:40 使用所 「先祖・流産児供養祭」 聖経『天使の言葉』 『聖歌歌詠集』 会場：大拝殿 16:30 夕食・入浴休憩 18:20 聖歌・笑い 18:30 講話 祈りは必ず叶えられる 岡田 伊郎子 『人生の扉を開く(第3集)』 19:30 「折り合いの神想観」実修 岡田 伊郎子 20:00 体験感想文記載 20:40 就寝準備 22:00 消灯	4:45 起床 5:05 早朝行事 先導：未定 聖経「甘露の法雨」 『日々の祈り』聖歌歌詠集 6:30 感謝行(15分) 6:45 朝食・休憩 (食卓は6:45～7:30) 7:50 聖歌・笑い 8:00 講話 すべてを調和する道 ～神・自然人間は本来一体なり～ 岡田 浩二 『合本讃歌』『二百字日記3』 8:50 休憩・笑い 9:10 講話 輝く未来が待っている 小野 大作 『二百字日記3』 『人生の扉を開く(第3集)』 10:00 「実相円満講行」実修 小野 大作 10:30 休憩・笑い 10:50 体験決意発表 11:40 結語講話 信仰による平和の道 目益 泰夫 『飛鳥讃歌』 『人生の扉を開く(第3集)』 12:30 開会式・使命行進曲・挨拶 12:40 祈り参事 屋食をお召し上がりいただけます 屋食後に、J.R宇治駅と京阪宇治駅 までの送りのバスを2手配いたします。 (テキスト) ・二百字日記3 ・日々の祈り ・夢の地平線 ・新しい文明を築こう・中巻 ・神と信に生きる真理365年 ・神話神想観 ・人生の扉を開く(第3集) 『行事で使用するもの』 ・聖経四部経 (聖経甘露の法雨・聖経天使の言葉・ 聖経純粋甘露の法雨・聖使菩薩讃歌) ・合本讃歌 (親世音菩薩讃歌・大自然讃歌) ・飛鳥讃歌 ・人類同胞大調和六巻経 ・万物調和六巻経 ・聖歌歌詠集 『持ち物』 ・洗面用具(シャンプーはありません。 ご持参ください) ・筆記用具 ・着替え ・ハンカチ ・マイ箸、マイボトル ※売店と自動販売機は撤去いたしました のでご注意ください 【奉納金】 ・一泊4,000円 ・子供(3～12歳)2,750円 ・日帰り1,500円 ・子供(3～12歳)750円

(3頁から続く) 自覚して神の子を顕現していきたいです。

S. H (60代) (女性)

三人の子ども達の縁談について悩んでおり、心の大掃除がしたくて参加しました。長女は対人恐怖症のような症状もあり、仕事も出来ていません。この二つの点を、解決したいと思い個人指導もお願いしました。

清水講師より、「どんな現象もない、あるものは光のみ」という指導を受けました。私自身の自己肯定感を高めることが大切、心が揺れる時もあるが



献勞の様子

そんな時
もそのま
まの自分
を肯定し
てあげて
ください
とアドバ
イスをい
ただきま
した。
また岡

田浩二講師より、子どもたち側の気持ちや具体的な生活法など、アドバイスをいただきとてもありがたかったです。永代供養させていただいている両親に、宇治に来て初めて先祖供養することができ、浄心行でも、父と母を身近に感じる事ができてとても嬉しかったです。

これから地元に戻っていつもの毎日を送るわけですが、常に自分を褒め、家族に感謝し、喜びを表現して、宇治で大声で唱えた「私は神の子！光のみ！善のみ！」の善きコトバで心を満たし、喜びいっぱい毎日を送りたいと思います。

I. A (60代) (女性)

子供たちの健康と幸せを祈願したくて来ました。仕事のことで考えている事があり、また自分を変えたくて参加しました。

浄心行では涙が出ました。父母やご先祖様に感謝、家族や職場に感謝の気持ちで過ごしたいです。練成会のお食事もうまい手作り美味しかったです。

講師の方々の講話も素晴らしく、感動しました。

子供たち、夫、職場に感謝して、愛を出して、明るく悦んで毎日過ごしたいです。一緒に来てくださった教区の仲間たちに感謝。練成会にいかせてくれた夫と家族に感謝です。「ガチガチにならずにやりましょう」という講師の言葉を噛みしめています。

S. Y (60代) (女性)

二月に命と向き合うことになり、三月から今回で六回目の参加になり、同時に研修生として一ヶ月お世話になる事に決めました。

今回は招神歌の意味を教わり、神様の幸を分けていただいた神の子、幸せから逃れられない善一元の生命である事に、喜び感謝でいっぱいになりました。鵜飼講師の講話で、気づくだけで神と一体になり安心に繋がる事、光を与えてもらうだけでなく自分で光を与える喜びを感じる事を教えていただきました。

研修生として感謝と笑いを徹底し、

一ヶ月後の自分を楽しみに、皆様と仲良く元気で生活させていただきます。この環境は神さまからのギフトだと思っています。

R. R (20代)〈女性〉

私は韓国から来ており、両親の勧めで研修生しております。短期練成会の初日、岡田浩二講師が話されていた「本質的に悪い人間はいない」ということが特に心に残りました。講話の中で「三元論の中でも最も代表的なのが善悪三元論だ」と仰いました。私はまさにその代表的な善悪三元論者でした。世の中には敵がいて、悪い人を打ち倒さなければならぬと考えていました。

練成会二日目の食事中、研修に関わる職員の方とこんな話をしました。私が昔働いた職場は雰囲気は本当に厳しくて、先輩に一度教えてもらった仕事をすぐにうまくできないと、叱られていたという話です。その職員の方は「そんなに怖がりながら一度で確実に覚えなくてもいいんです。自分のペースで、

何度も繰り返し返して覚えても大丈夫です」と言ってくださいました。きっと教える立場からすれば、私が一度で覚えただけが助かるはずなのに、そのように言うてくださったのは私を安心させ、心を楽にしてくださいさためだったと思います。そしてその方だけでなく宇治別格本山に来てから出会ったすべての方々が同じでした。完璧にできなくてもいつも変わらず愛されていると感じて私は今、本当に幸せです。どうして私は今までの叱られる環境からこんなにも常に愛される環境へと変わる事が出来たのか、それはきっと私の心が大きく変わってきたからだと思っています。

かつての私は厳格な道徳主義者でした。自分が考える道徳的な基準から外れる人を見ると、心の中で裁く習慣があったのです。いつも「自分は正しい、相手は間違っている」と思っていたので、心の中で相手を叱っていたのです。だから私は心の現われで、自分もまた叱られ続けるしかなかったのです。

そして今日の浄心行の時、私はこれまで許せなかった思いをすべて紙に書

初詣練成会 ～お雑煮接待係奉仕募集！～

12月31日～2026年1月3日の初詣練成会におきまして、1日に雑煮接待、2、3日は食堂手伝いをしていただく奉仕員を募集しております。約15名の募集で、先着順とさせていただきます。

奉仕をご希望の方は練成部（☎0774-21-2153）にご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしています。

《・奉仕以外の時間は練成会を受講していただけます・奉納金(宿泊、食事代)と練成会受講は無料、交通費は自費負担となります》

き出しました。先月の浄心行では先導の方が「私は貴方を赦しました。貴方も私を赦しました」と言われた時、涙が溢れそうになりました。私はこれまで赦せなかった人たちを赦し、私自身も赦されたいと思っていたのです。しかしその時は恥ずかしくて涙を堪えてしまいました。ところが今回の浄心行では、「病はない」と叫んだ時、涙が思

わずこぼれてしまいました。病と言えば身体の病も心の病も含まれるでしょう。その言葉を叫んだ瞬間、身体と心の病から解放されるような感覚がありました。誰かを心で縛って苦しんでいたのですが、「悪もなく、神の子じゃないのだ」という思いが湧いてきて、本当にありがたい気持ちになりました。こうして感謝と愛に満ちた生活を送る事ができるように、私に温かい愛の心を惜しみなく表現してくださった皆様に、心から感謝いたします。



C. M (70代 男性)

本年六月に脾臓がんのステージⅣの診断を受け、七月の短期練成会に参加し、目等総務の個人指導と諸行事に感謝を受け、人間神の子、病無しの心境とみに進み、その後の抗がん剤点滴による治療も功を奏し、血液検査データも段々と良くなっているの、更に良好となるべく参加しました。

本練成会を喜びと共に真剣に受講させていただいたことで一層心が軽くなり、必ず良くなる、良くなるしかない

い”の想いが一層強まり確信となりました。

機会を見つけては、み教えの伝道に努めつつ、三正行に励み、信仰の深化

〈神癒祈願のお礼状〉

尿路感染症が治り、

腎臓の数値も良くなった

Y. T (女性)



いつもお祈りくださいます。ありがとうございます。尿路感染症が判明し、即入院となりました。一週間後、主治医から「細菌は完全になくなり、熱も下がった」と連絡がありました。びっくりしたのは、今まで腎臓の経過をずっと専門医に診察していたのだのですが、入院中に急に数値がよくなり、CRP値が二十から三十三にまで上がったとのこと、こんなに急に数値が良くなること

向上を図って参ります。また参加したいと思います。

はないそうです。これは、神癒祈願で心を込めてお祈りくださったためと思われま。本当にありがとうございます。

敗血症ショックから回復

H. I (女性)

八月下旬、長男が敗血症ショックで入院し、命に関わる状態と言われ、不安いっぱいのまま教化部へ相談し、宇治へ神癒祈願をお願いしました。周りも驚くくらいの早い回復で、九月上旬には一般病棟へ移り、その一週間後には無事退院しました。ただただ、感謝しかありません。

また、息子のお陰で『飛鳥讃歌』を読誦する喜びを与えられました。今でも体が震えるほどの感動です。ありがとうございます。

〈写経のお礼状〉



感謝の信仰生活

K. T 〈女性〉

いつも神癒祈願や写経、末一稻荷祈願等でお祈りいただき、平穏な生活ができることに感謝しております。先日も風邪がなかなか良くなり、不安に思っておりましたが、御祈願のおかげで悪性のものではなく、安心しました。九月二十七日は『大調和の神示』の日ですので、『七つの灯台の点灯者』の神示の写経をすることにしました。最近気候変動が激しく、自然災害が目立ってきたように思います。総裁先生が説かれる「自然と人間との大調和」が大切になってきたと、つくづく思うようになりました。次回は『自然と人間の大調和を観ずる祈り』を写経させていただきます。

髄膜種の手術成功

A. M 〈女性〉

『甘露の法雨』を全項目写経しました。また、総本山の神癒祈願を教化部長が出してくださり、友人からサラシの写経を頂いたり、たくさんの方々の写経祈願・神癒祈願のご愛念で、八月に後遺症もなく無事に退院できました。癒されたお礼に『甘露の法雨』の「人間」の項目を写経し、奉納させていただきます。これからも、奉納写経を続けていきたいと思えます。

夫の体調が回復

T. I 〈女性〉

写経を送付後、夫が県立がんセンターに入院しました。本人から「帰りたい。がんセンターでは死をを考えている」と電話があり、すぐに迎えに行つて退院しました。九十四歳という高齢でステージⅣの肺がんでは、上手に死

を迎える方法しかしてくれませんでした。本人の希望通りに家に帰ってから、がんの症状はあるものの、良い先生に恵まれたり、良い民間療法に出合えたりしました。がんセンターでは食事が一切取れませんでした。今では毎日三食食べることができ、体重も増えてきています。これもお祈りのお陰と感謝申し上げます。

神癒祈願

左記のQRコードからお申し込み頂けます。



奉納金は随意です。
詳しくは神癒祈願課
までお問い合わせください。

《お問い合わせ》

生長の家宇治別格本山祈願部

神癒祈願課 Tel. 〇七七四(二二二)一五七

FAX 〇七七四(二二二)二六七

◆11月 宇治別格本山で行われる祭典◆

11日(火)10:00～ 自然災害並びに世界規模感染症慰霊塔月次祭

13日(木) 9:45～ 宝蔵神社月次祭

全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭

19日(水)10:00～ 末一稲荷神社月次祭

精霊招魂神社月次祭

12月6日(土)に「先祖・流産児供養祭」が練成会行事として開催されます。

練成参加者以外の方でも、ご希望の方は是非ご参列ください。

※霊牌奉納をご希望の方は、当日14時までに大拝殿1階お受け所にお出しください。

《開催予定の行事》

「短期練成会」 毎月第一週(金～日)開催

- ・12月は5日(金)～7日(日)に開催
- ・1月(初詣練成会)は年末年始のため、
12月31日(水)～1月3日(土)に開催

「献労練成会」

- ・12月12日(金)～14日(日)に開催

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

- ・11月は第2,3,4週の土日に開催

上記練成及び講話のプログラム、詳細は4～7ページに掲載されています
皆様のご参加を心よりお待ちしております。



宇治別格本山ネットフォーラム研修版

(「九折スタジオ動画」「登録ビデオ」を拝聴して、感想をシェアします)

宇治の講師陣と共に真理研鑽のひと時を過ごしませんか？

◇参加希望の方はZoomミーティングに入り、ご参加ください。

・URL: <https://us02web.zoom.us/j/81447305227> ・ID: 814 4730 5227

◇視聴希望の方はFacebookグループ「生長の家宇治別格本山ネットフォーラム」に入会し、ご視聴ください。※入会は無料です。

★分からないことがありましたら、お気軽にお電話(0774-21-2153)ください。

11月は27日(木) 午後3時より開催いたします。ぜひご参加ください。



宗教法人 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/



ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。